

2023MFJ 全日本スーパーモト選手権第4戦 茂原ツインサーキット 参戦レポート

MFJ 全日本スーパーモト S10open クラス

MERCURYPRODUCTS #9 薄井保彦

7月23日茂原ツインサーキットで開催された MFJ 全日本スーパーモト選手権第4戦に参戦しました。

今回はダートが3か所。まず、1コーナーを曲がった後に2コーナー手前を左にターンしてダートに入りジャンプ。そのままアスファルト路面に抜けます。



ヘリポートコーナー先から特設シケインを抜けて第2ダート。こちらはまずジャンプがあってから軽く右にカーブして左のターマックに出るレイアウト。



第3ダートは、軽く右に曲がっていますが実際走るラインはほぼ直線になりそうです。



今回のダートは皆ほぼ直線なので土をあまりターマック路面に引っ張らずに済みそうでターマック路面のグリップが期待できます。

前日練習日は3本の走行枠がありラインやギヤの選択、サスセッティング等を試します。

後は30度越えの気温の中なので力を抜いてクールダウンするポイントも探しておきます。3本目の枠では早速第2ダートジャンプ後の加速区間の路面が荒れ始めてきます。

レース当日晴れ。前日練習日より気温の上昇が早く暑い一日になりそうです。

まずは5分の公式練習からグリーンフラッグが振られての10分のタイムアタック。

前日練習ではあまり他の選手と絡まなかったのにタイムアタックになったとたんに関前後に選手が居る状態が続きます。クリアラップを取った時に限ってペースダウンした選手にダートで引っ掛かったりと上手くアタックが掛けられず何とか3本アタックしたところでのサインボードはP14表示。これではやばいとさらにプッシュして最終ラップでタイムを出せて予選は12位。自分のタイムの1秒内に9選手と今回も混戦が予想されます。

気温が35度を超える中ヒート1。4列目一番左からのグリッド。今回は1コーナーがダートでは無いので1コーナーの混乱は少ないと予想。ただ、左側グリッドからのスタートだと広めの1コーナーが右コーナー、続いて左コーナーでダートに入るレイアウトで混乱しそうなダート左側のラインを通るしかなさそうです。

今回も 2 速スタートでレーススタート。クラッチミートは普通で 1 コーナー目指します。



第 1 ダートに入りジャンプ着地、目の前で数台のバイクが転倒しています。(MFJ のレポートだと 5 台との事ですがそこまで居たかな?) 追突は免れましたが行き場を失いこのままだと停止してしまうので厳密にはショートカットペナルティーを取られるかもですがイン側のコーステープをカットして転倒者を避けるべくコースをショートカットして復帰。5 台? 転倒者を抜いても巻き込まれたロスの方が大きく順位は後退。その後の第 2 ダートでも 1 人転倒。茂原はサインボード出す位置が高くスピードも出ているので混戦状態では順位の確認が出来ません。ただ前方には多くの選手が走っているので上位ではない事は確か。



ダートでの 3 ワイドなんて展開もありつつ数周後、目の前の久谷選手を追って第 1 ダートのジャンプ。久谷選手のリアがジャンプ手前で振られジャンプで横を向き転倒。真後ろでしたがジャンプ手前の挙動で察知して接触は避けられましたが、そのタイムロスで後ろの大野選手に抜かれます。転倒での 1 台抜き、1 台に抜かれたという事で順位変わらず今度は大野選手を追います。

今年からメーカーチェンジした大野選手のマシンはストレートが速く他の選手は加速ラインに乗せてホームストレートでパッシング出来たのが通用しません。他のパッシングポイントは路面が荒れている第 2 ダートジ

キャンプの後ですが転倒のリスクが高すぎてそこは無難に走ります。そうこうしているうちにラスト 2 周、大野選手と自分の前後はかなり離れて 2 人のバトルに。第 3 ダート進入でなんと大野選手転倒。これも目の前でしたがなんとか追突せずに済み、1 つ順位を上げます。前後は離れているので後は転倒なくチェッカーを受けるだけ。暑さで集中力が欠けそうになる中、落ち着いて走るよう心掛け無事チェッカー。



結果は 9 位。何人転んだか分からないくらい転倒者の多い中で無転倒だったのが功を奏して予選よりも順位を上げる事が出来ました。

昼休みを挟みヒート 2 は 15 時スタート。気温はさらに上がりグリッドで選手紹介の時間も辛い暑さ。持ってきてもらったペットボトルの冷たい水を路面に垂らさない様に注意しながらツナギの中に流し込み涼をとります。画像ではレース前ですが既にばてています。



選手紹介も終わりヒート 2 スタート。



今回は 3 列目左から 2 番目ですが、位置的には第 1 ダート

はまた混乱の左側を通らなければならぬそう。それでもなるべく右側を目指してスタートを切り 1 コーナーが近付いて来たとき、前方で 1 台が転倒。もう 1 台巻き込まれてコースが塞がれます。



左側に避けて巻き込まれなかったものの順位はめちゃくちゃに。タイム的に遅い選手が前に居たり速い選手が後方に居たりでここからレースは荒れそうな予感です。

早速序盤に岡田選手に第 2 ダート右側から抜かれてしまいます。



続いて内山選手には第 2 ダート左からパッシング。第 2 ダートの荒れた部分に対応しきれいていません。



さらに後ろからは 1 周目の転倒の影響で遅れた千葉選手。



残り 3 周程千葉選手を抑えながらの走行。一度、周回遅れの選手に引っ掛かり抜かされそうになる事もあり

ましたが千葉選手はなんとか抑え続けて 9 位でチェッカー



残り 2 周は暑さで集中力が欠けてきましたが後ろの千葉選手も一緒だったようです。

今回はとにかく転倒者の多いレースで、前日練習から何度も救急車が来てドクターヘリが来る転倒もありました。例年だと 7 月は宮城県のスポーツランド SUGO で開催が、今年は千葉県の新潟サーキットで開催だった為の暑さも影響があったと思います。

幸い自分は前日練習から一度も転倒が無かったので予選結果より 2 ヒート共良い結果で終われました。ただ、第 2 ダートにもっと対応できればヒート 2 はもっと上の順位になれたはずだったと思うと悔しいです。

次戦は 9 月 17 日名阪スポーツランドでの第 5 戦です。名阪はダート区間が 50%以上と特殊なコースなのでダートの練習を中心にトレーニングしたいと思います。

今回も応援、サポートありがとうございました。引き続き宜しくお願い致します。